

5

MAY 2022
VOL.151

心と心をピピピと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-denshin

Let's コミュニケート!

自分、テレビっ子なんで…

きおく画伯

5月といえば『メイ』

社長と行こう! こっそり食堂

隠れ家豚骨。

特集

drone -ドローン-

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶



-特集- Drone ドローン



ドローンと聞いてイメージするもの…

小中学生の時から航空ファンであった自分としてはドローンは無人標的機の名称と認識していたので、無人マルチコプターを「ドローン」と称するのには違和感を感じていました。飛行機に曳航される簡素なオレンジ色の機体というイメージが強かったのです。今回は、昨今話題となっている「ドローン」について見ていきましょう。

ドローンの歴史

当初のドローンは飛行機の形をしていました。世界で初めてドローンが登場したのは、1930年代の英国。軍で採用されている複葉練習機を改造したもので、こちらは対空射撃の演習用として使用されました。この時点ではまだ「ドローン」という呼称は使われておらず「クイーン・ビー（女王蜂）」と呼ばれておりました。ドローンと初めて呼称されたのは1940年代のアメリカ。「ターゲット・ドローン」という機体が最初です。ドローンは「雄蜂」を意味し、英国のクイーン・ビーに敬意をあらわしこの呼称が使われたそうです。ドローンは軍事由来だったのです。他にもプロペラの風切音がハチのように聞こえるからという説もあります。

ドローンのタイプ

現在、ドローンという名称を持つ機体には様々なタイプがあり、一般家庭やビジネスシーンでも利用されるタイプは3枚以上のプロペラを持つマルチコプターですが、米軍で90年代から運用されている無人偵察・攻撃機「プレデター」は長い主翼と尾翼、1枚の推進用プロペラを持つ飛行機の形態です。ドローンは広義では無人機なので、遠隔操縦が可能な航空機、船舶、車両のことも指し、昔からあるラジコンカーやラジコンヘリコプターも含まれます。現状で世界的に認識されているドローンは、ジャイロを搭載した3枚以上のプロペラを持ち、カメラを装備したマルチコプターのことを指すと思います。



マルチコプタータイプ
DJI Phantom 4 Pro V2.0
<https://www.dji.com/>



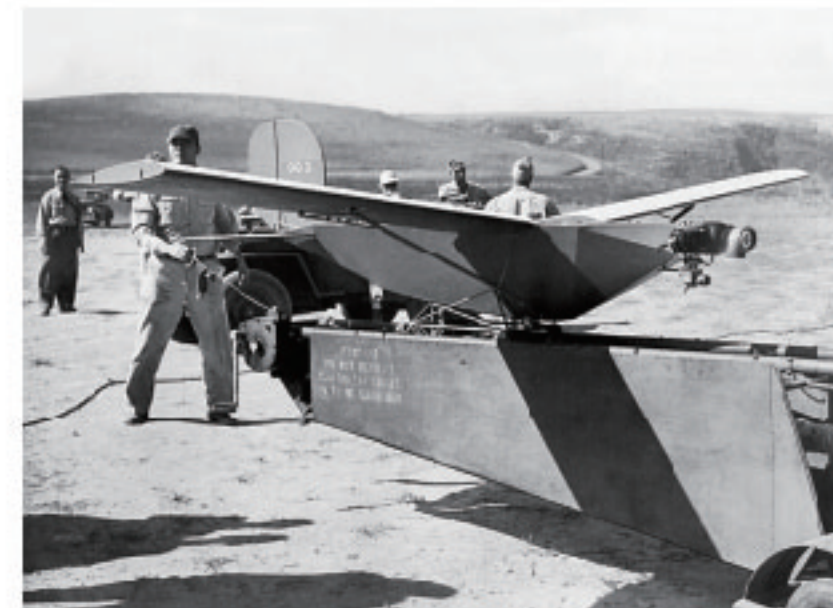
飛行機タイプ
米軍 RQ-1 プレデター
U.S. Air Force
<https://www.af.mil>



F-15J 戦闘機に懸下されるターゲット・ドローン
(防衛省 飛行開発実験団ウェブサイトより)



ドローンの元祖 英国軍の「クイーン・ビー」



米軍の「ターゲット・ドローン」



潜水艇タイプ
QYSEA FIFISH V6 水中ドローン
<https://sekido-rc.com>

兵器としてのドローン

興味深いのが、現在のウクライナ情勢で「ドローンが軍事利用され、戦果をもたらしている」というネットニュースについてコメント。「ドローンが戦争に使われるなんて恐ろしい」「ついにドローンが軍事利用される時が来たか…」など。元々軍事目的で開発されていたドローンと世間一般に広まっているドローンが持つ意味の違いにある種の皮肉さも感じられます。実は太平洋戦争時の日本海軍でもドローン攻撃機が計画されておりました。しかし、当時の無線誘導の技術では精度が劣り、実戦では使い物になりませんでした。結果的にこの兵器は人間が誘導装置の一部に組み込まれるという悲劇をもたらします。その機体は特殊ロケット攻撃機「桜花」。こちらはドローンというよりは対艦ミサイルの性格の強い兵器でした。（陸軍では赤外線や音響などで誘導する兵器を開発していたそうですよ）

普及型マルチコプタードローン

マルチコプタータイプのドローンが普及したのは様々な技術革新と、低コスト化によるものが大きいと考えられます。元々上向きの複数のプロペラで飛行を行うマルチコプターは1900年代初頭のフランスで浮上に成功しているものの、その後のヘリコプターの台頭により存在感を失ってしまいます。一時期ベトナム戦争の際は空飛ぶジープとして、複数の上向きプロペラを装備した機体が開発されました。これは飛行自体には成功したものの、地面スレスレを飛ぶためプロペラの旋風で砂埃がたち、位置を容易に特定されてしまい却下となりました。時は経ち、1980年代終盤、姿勢制御技術も成熟し、日本のセンサーメーカー「キーエンス」が「ジャイロソーサー」という世間で認知されるマルチコプタータイプのドローンの元祖と言える製品を開発しました。その後、世界各国のメーカーが研究用途でドローンを開発・リリースしていきました。民生用に波及したのは2010年に発売されたフランス Parrot 社製の「AR Drone」。こちらは従来のドローンのようなコントローラーを不要とし、スマートフォンにアプリを入れて制御するという画期的な製品でした。また SNS の波及にともないドローンで撮影した画像や映像が拡散され、ドローンという存在とそのダイナミックな画角の迫力が SNS を通じて広がっていきました。そういった経緯から、ドローンがここ最近のものと感じる要因かと思えます。先述の「ついにドローンが戦争に使われるとは…」は2010年以降のドローン形態で初めて軍事利用されたという感じでしょうか。改めてドローンの進化を見つめることで、人類の技術、時代の変遷を感じ取ることができますね。

最後に

センサー技術、カメラ技術など日本には強みがあり、現在のドローンの原型まで作り上げた日本ですが、民生用ドローン製品で日本メーカーは影が薄く、中国の DJI 社がシェアを獲得しています。産業用ではヤマハが作っていたりと日本各メーカーのラインナップも豊富ですが、日本の強みともいえるジャンル故、民生用ドローンの国産化、ラインナップ拡充に期待したいものです。ただし、DJI 社製のドローンにも日本製部品が多く使われていたり、本体ではなくサプライヤーとしての地位は確立できているのかもしれませんが。これから先、ドローンが様々な用途で使われていくのは間違いなく、法整備や免許制など周辺環境も整えられてくることと思います。ドローンの操作、ノウハウが就活に生きる、そんな時代がくるのかもしれないね。（文責：山本）



日本海軍 特殊ロケット攻撃機 桜花 11型
靖国神社 遊就館
<https://ja.wikipedia.org>



ウクライナ軍が利用したトルコ製ドローン
バイラクトル TB2 他、民生用ドローンも偵察に利用
<https://www.newsweekjapan.jp>



普及型ドローンの元祖 日本キーエンス社製
「ジャイロソーサー」
<http://web.media.mit.edu/~stefanm/FFMP/Proposal.html>



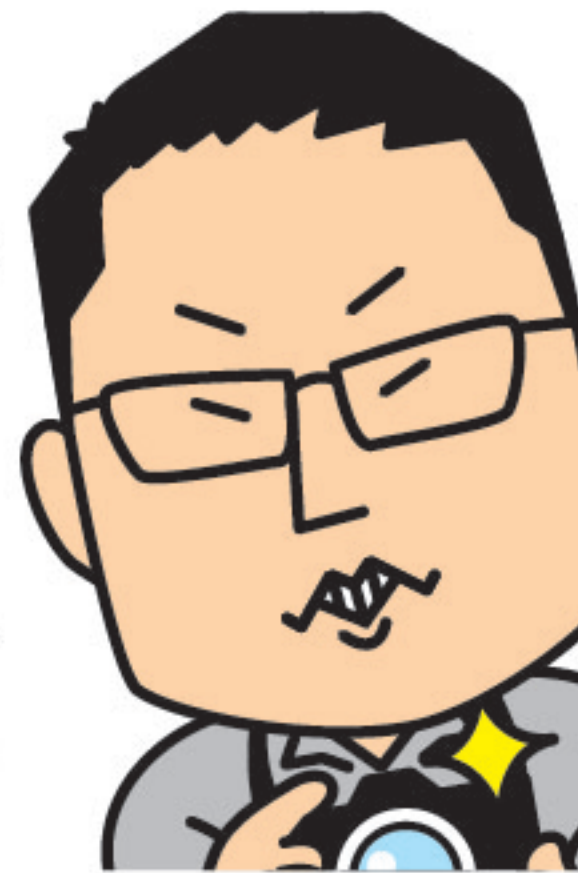
ドローンで撮影した竹島園地周辺と蒲都市街地 撮影：水野 (DJI Mavic Mini)

ミデコラム

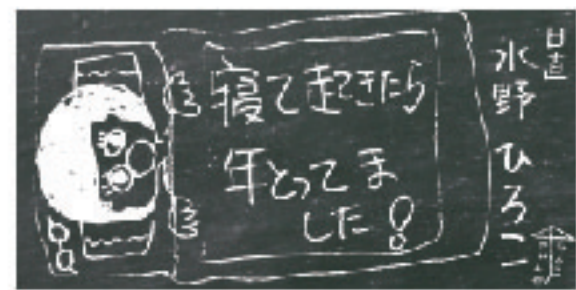
今月のにわか編集長
山本兼佑

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第117回

事故回避の為に

とある夕方、図書館に向かい車を運転する私、図書館の入り口で右折をしようとウインカーを出し反対車線からの車がとぎれるのを待っていた。「ゴン！」結構な衝撃。「あれ、まさかぶつけられちゃいましたあぁ〜」

自分の中で「現実だよな」とうっすら認識しながら、交通のじゃまになるので目的地である図書館の駐車場へ入る。「ゴン」の原因の軽トラも後に続いて入る。

「あーとりあえず保険屋さんに連絡しよう」「警察署にも行かなくては」。相手は若い男の子、平身低頭であわてている。そうだよな、初心者マークつけてるし、こんな経験初めてだろうね。男の子は父親に電話をし、私は保険屋さんと警察に事故証明を取りたいと電話。車が動かさそうなので10分後に向かいますと連絡。傷ついた車二台、並んで向かう。思いのほか、車がやられているようで不気味な音を聞きながら運転をした。警察に行き、事故証明の手続きをし、お互いの連絡先を交換し、後は保険屋さんということで別れた。

車を修理に出し、今はレンタカーに乗っている。

自宅から図書館に出掛ける時いつもは、左折で駐車場に入っていた。事故に遭った日は、駅からの帰りだったのでいつもと違い右折で駐車場に入る道を通っていた。100:0の賠償責任だったがこれからは回

り道してもなるべく右折をしない運転をし、事故回避に努めようと思った私でした。

にわか編集長コメント

大変でしたね。どんなに気をつけていても自分では防げない事故もありますもんね。お怪我なく安心しました。片側1車線での右左折は後続車の動きに神経を使います。僕は、自分の運転も信用してないので、他者の運転はもっと信用できません。



第118回

自転車通勤のヤキモキ

最近過ごしやすい気候というのと、今シーズンは体を動かす習慣をつくりたいので、自転車での通勤を継続しています。自転車のタイプはロードバイクで、ヘッドライト、テールライト、サイドミラー、サドルバッグを装備した公道仕様です(車体は数年前に入門者用を中古で安く買いました)。ヘルメットとグローブを必ず装着します。

自転車で走る際の心がけとしては、自動車(後述クルマ)と同じ走り方を心がけています。車道左側寄り通行、二段階右折など二輪のルールはありますが、車両という認識を強く持ち、自転車と向き合います。

そんな中でのヤキモキというのが、自身への葛藤という感じ。クルマと同じ認識で走るため、信号待ちや渋滞時でも自動車の

車列を左から追いつくことはしません。急にドアが開くかもしれないし、急に動き出すかもしれません。自分がクルマに乗っている際、自転車の追いつきで緊張しますし、同じ自転車に何度も信号待ちで抜かれ、その度に抜かすようなことはドライバーへの心象も良くありません。信号待ちで抜かれる際にサイドミラーを当てられるんじゃないかとヒヤヒヤします。

ヤキモキというのはそのように走っている自転車がほほいないということ。自分が間違っているようにも感じています。自転車の利便性を大きく損ねているのかとも思います。渋滞の車列を抜かすずにクルマと同じように待ち、その間、いろんな自転車に抜かれていきます。自分なりにやってみたらどう感じます。自転車なら鞆と抜けば速いじゃん!ともう一人の自分が主張するのです。特に豊橋などでの長い渋滞にはまったときはそうです。車道が難しいなら、歩道を走ればいいのかもありません。道路交通法的にもある程度の歩道走行は認められています。車道が渋滞しているから、歩道を走るというのは許容範囲だと思います。歩道を走ればいいのかもありませんが、何故かルール原理主義者と言わんばかりに歩道を走ることを極力避けます。自転車から降り、手で押しながらトロトロと歩道を歩くのです。その横を他の自転車が追いついていきます。ここでも葛藤があり、歩道走行すればいいのに、何やってんだらうと。横断歩道も自転車横断帯がなければ押し歩きます。

よくよく考えてみたら、本能的に歩道走行を避けているようにも感じます。過去のヒヤリハットの経験を思い返すと圧倒的に歩道を走行している時が多く、自転車がバンクした際も歩道を走っていました。また、歩道は死角が多く交差点で右左折して

きおく画伯

第70回

お題 メイちゃん

描いた人 前田さん



5月ということで、となりのトトロからメイちゃんの登場です。なかなか難しいお題のはずでしたが、さすが画力と記憶力の前田さんです!



第117回

さよならマッドブラック

長男の愛車は祖母のおさがり。ライトローズマイカメタリックという薄いピンクのボディを、本職の業者さんが、「よう自分でこれだけやったね」と呆れるくらい、スプレーでクロに変えるなど「お金をかけずにリメイク」した逸品。

が、それが災いしたのか、地元に戻ってきたツレと愛車で繰り出すと、まああの確率で職務質問を受けるらしい。

初めて職質を体験した時は、自分だと気付かずそこそこ走ってしまったためか、念入りに車内とともにお調べに。トランクにサッカースパイクとゴルフクラブ(カバーは付いている)が1本転がっているのを見た警察官に緊張が走るのを肌で感じとった長男。「でしようね」と思いつつ、「えっと、打ちっぱなしやるんで、積んだままなんです。もらい物です」と自己申告。それはそれは丹念にチェックされたらしい。

同乗していた友人なんて、人懐こくてとにかくイイやつなのだが「ラップ大好きハーブ」の見た目がいかつすぎたのか、はたまたま着ていたものがデカデカと大麻のプリントされたTシャツだったからなのか「君は…ハッパが好きなのかな?」と聞かれ、「違います! コレは好きなラッパーのコラボTシャツです!」

とウルウルした瞳で訴えたらしい。長男ともうひとりの友人は笑いを堪えるのに必死だったそうで、結果、無罪放免。

「えらい目に遭ったわ…」と仲間内で語り継がれ、その日から「マッドブラック」

という、異名を付けられた長男の愛車。ちなみに夜の街を走る不気味な艶なしボディから…らしい。(類似外見=マッコウクジラ)

さて、先日いよいよそのマッドブラックとサヨナラする日がやってきた。

ちょいちょい調子が悪くなるのをお直しお直しして乗っていたものの、車検をとるか車を変えるかの選択を迫られ、折よく馴染みのディーラーさんより「いいの入ってるよ!」の一報を頂いて…のご縁。

雨の日も風の日も、カノジョとの遠出デートにサッカーに就活に…どこに行くにも一緒だったマッドブラック。早く新しい車に変えたいと不満たらたらだったくせに「…なんか、やっぱさみしいな」とぬかず長男。



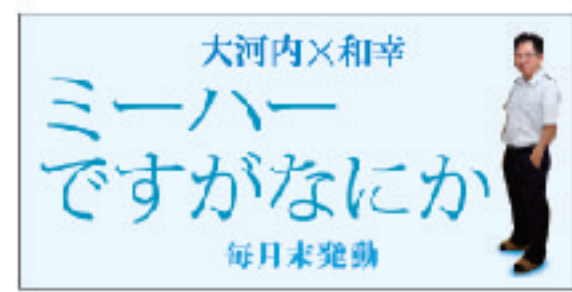
ラストラン (ウイニングラン) 今までありがとう

雨の日の別れになったため、濡れたボディがみたことないくらいツヤツヤだったのが、これまた哀愁を誘う。

いままで長男を無事に目的地まで運んでくれてありがとう。そして新しい二代目ブラック(今度は真正正銘のクロの車なんで…)もよろしくね!

にわか編集長コメント

職質受けたことないので、どんな感じか気になりますね。マッドブラック!つや消しブラック、カッコいいですね。いつかはマッド塗装でマッドにしてみたいと思いますが、年齢を重ねるほどやりづらくなります…。あ、そういえば職質受けたことありました!大学の自主制作で深夜、業務用の大きいビデオカメラを持ってウロウロしていたら呼び止められました。撮影したビデオを見せて無罪放免(夜空を定点撮影)。オネイサンが映っていたら逮捕?でしょうか(汗)。



第118回

伝説の神ドラマの超絶神回

コロナ禍で多くなったことの一つにYouTube動画の視聴がある。知らない間に随分と登録チャンネルも多くなってしまった。不思議なもので自分の興味や関心がある動画が上位に掲載されているとついつい見続けてしまうこともしばしば。すっかりYouTube先生の思惑通りと言ったところか。そんなある日、一本の動画に目が釘付けになった。1995年フジテレビ系で放送された「王様のレストラ

ン」。三谷幸喜大先生の人気を不動のものとした初期の大傑作といってもいいだろう。自分自身、長きにわたるミーハー人生の中で後にも先にもこのドラマこそ歴代ナンバー1の神ドラマだと思っている。リアルタイムで見たのはもちろん、DVDまで購入した入れ込みようだ。父親の死で突然フレンチレストラン「ベル・エキップ」の若きオーナーとなった原田祿郎(筒井道隆)が、伝説のギャルソン・千石武(九代目松本幸四郎)を呼び寄せ、傾きかけたフレンチレストランの再建を目指す人間ドラマ。超一流の千石とやる気のない従業員たちは激しくぶつかり合う。しかし奇跡は静かに、そして劇的に起こり始める全11話からなる個人的には伝説のテレビドラマなのだ。

四半世紀以上も前のドラマなのに今見ても見応え十分、色褪せることのないそのクオリティに魅せられて初回から最終話まで一気に見てしまった。ドラマではほとんど見ることが不可能な松本幸四郎大先生を主演にすること自体、当時は奇跡であったし、筒井道隆、山口智子、鈴木京香といった勢いのある若手メジャー級に加え、西村雅彦、小野武彦、梶原善、白井晃、伊藤俊人、田口浩正といった三谷脚本には欠かせない実力派舞台俳優らが脇を固め、森本レオ大先生のナレーションが要所で全体を引き締める。三谷氏自らが制約を課したというほぼすべてのエピソードが、レストランの中のみだけで進行する群衆劇。出演者もレストランの従業員たちと数人の客、毎回登場するゲスト俳優のみで、脚本、ストーリー、演出、音楽、役者陣の演技力などすべてが完璧な名作ドラマといってもいいだろう。

三谷脚本の真骨頂ともいえる話の面白さ。下ネタ的な笑いはもちろんシュールな笑いも多く、最初から最後まで見る人を飽かさせない。伏線の散りばめ方、回収の仕方も絶妙。全話を見ることでその巧妙に張り巡らされた三谷ワールドに引き込

まれること間違いなし。印象的なエピソードは多々あるものの、個人的には第6話「一晩だけの支配人」が秀逸な神回だ。このエピソードの主役は食堂担当のメートル・梶原民生(小野武彦)。仕事は雑で下品極まりないこの男が、元妻と息子の突然の来店で大慌てするところから物語は始まる。オーナーの次に偉い総支配人だと大見えを切った上、次から次へと嘘に嘘を重ねて従業員全員を混乱に巻き込んでいくストーリー。本物の総支配人(西村雅彦)が現れて嘘がバレそうになると千石さんが機転を利かせ、彼は中国のフレンチレストランから招いた宋建民という人物で敬意を表して宋支配人と呼んでいると見事に切り返す。しかし調子に乗った梶原が今度は店のシェフ・磯野しずか(山口智子)と交際していると話してしまう。しずかに会いたいと言いつつ元妻。絶対嫌だと拒否するしずかの代わりにパティシエの三条政子(鈴木京香)を静岡政子と名乗らせ、なんとか乗り切ったと思いきや、あれほど拒否していたしずかが突如登場し現場は大混乱、修羅場と化す。嘘をつき続けたことで話がややこしくなったことを全員に責められ落ち込む梶原。息子からも軽蔑され、地に落ちた梶原の名誉回復のため、祿郎の声掛けで起死回生の作戦を練って少々協力する従業員たち。ここでも話が二転三転して、すれ違いがこじれていく三谷作品の王道パターンが発動する。そしてこじれにこじれた結果、最後は丸くおさまる感動のハッピーエンド。この目まぐるしい展開にハラハラ、ドキドキが止まらない。千石さんが第1話で嫌味な客を追い払う時に見せたテーブルクロス引きをやってみたくて駄々をこねたり(やらせるも結局、派手に失敗)、予約客の名前も覚えられず、料理についても不勉強でやる気も見られない彼の変化はピフォーがひどすぎるだけにアフターの抜けが実に気持ちいい。そして他にも問題を抱えたキャラクター達の変化と千石さんの変化。最後に待ち

受けるベル・エキップ最大の試練とは…。フレンチレストランには奇跡があふれている。

にわか編集長コメント

そういえば大河内さん、昔、王様のレストランのDVD貸してくれましたね。このドラマ、大河内さん一推しで、こんなにも熱い思いがあったのですね。熱量の高さを文面から強く感じました。アペリティブ、このドラマで覚えた言葉です。いつかは口に出して言ってみたいものです。

一に日は道

水野 順也

第118回

やっぱ、目的を忘れてはならない

物事には現状があって課題がある。課題があって解決案がいくつかある。仕事の依頼される場面によくあるのが「予算内でできる限りできることを」的な問い合わせである。予算は重要な要素であるが、第一優先ではないと思う。まずは現状把握をし、その中での課題が多く存在するはずだ。その課題は原因と複雑に繋がりがあっていて、その糸を解くように整理をするのだ。それから解決すべき課題の中でこれを解決すると一番効果的だという順位をつけて、解決案を練る。ここまですら前段で、それが出来た状態であるかを確認したい。

これが予算ありきで物事を解決しようとする、目的は薄れて手法ありきで解決策

を検討し出すのだ。正攻法とは逆のやり方で、本来の課題解決という面では効果は薄くなるはずだ。結局は無駄な費用や時間をかけることになる。

弊社の仕事の仕方は正攻法である。現状と課題、こうなりたい姿、その間にある課題を共有して解決策を話し合い決めていく。それからようやく見積書を作成するのだ。見積書は選定した課題の解決に対しての項目の積算となる。それから予算についての検討となるのだ。

仕事の現場でもそうだが、他の社会活動での会議でも同じことで、まずは目的を忘れないで発言や行動すべきであって、それを忘れるとついつい無駄な時間を費やすことになる。

にわか編集長コメント

予算を決める際は割と主観の決めつけが多いかもしれません。この程度の品物やサービスにこんな金額は払えない、自身の経験則が大きく影響しているように感じます。肌感覚で弾く予算ではなく、目的達成のために最適な予算を算定するためには客観的な視点が必要かと感じました。そこはロジックなんですよね。目的達成、課題解決のために具体的にどう考え、動くかの。



愛知県内の旅行がお得!
LOVE あいちキャンペーン
 の開始にあやかって

お得に蒲郡を楽しめる がまポン

への登録はお済みですか?

蒲郡市観光協会のサイトからユーザー登録すると、市内飲食店や温泉、お買い物がお得になるデジタルクーポン「がまポン」を利用できます。この機会にぜひ、登録してみたいかがでしょうか?>



ご登録はいますぐこちらから!>

蒲郡市観光協会 公式LINE

お友達になろう!>

蒲郡市観光協会の公式LINEとお友達になれば、旬の観光情報やキャンペーンのお知らせなど、蒲郡に関する素敵な情報を手軽に受け取れます。蒲郡をもっと楽しみたい人におすすめのアカウントです^^



社長と行こう!
KOSSORI-SHOKUDOU
こっそり食堂
 豚骨ラーメンすずらん (御幸町)
 with 大河内・山本

初めて行きました。3月にできたばかりのオシャレなラーメン屋さんです。通りに面しておらず、知る人ぞ知る店と

いう感じですね。味はこだわりを感じる豚骨醤油、チャーハンがまた独特で癖になる風味がGood! お店の雰囲気、広い駐車場、月1で通いたくなる、そんなお店でした。もしかして、蒲郡は隠れたラーメン激戦区だったりして!?

(文・山本)

レッツ コミュニケート!

今月のお題

オススメドラマ

- クワソナタ**
- 花咲舞が黙ってない**
- 王様のレストラン**
- エンジン**
- 鎌倉殿の13人**
- 真田丸**

あだちペン
のんカフェ日記
2022.4.23 Sat.

file.70

3696
喫茶室

西尾の住宅
地にとっても
かわいい
カフェを見つ
けました♡

大きな窓から素敵な
お庭の見える明るい店内。
かえり迷いましたか、
今回はインバーグランチを
オーダー。ガッツリ肉と
異国のごはん(タイ米?)を
のんびり楽しみました♡
居心地のよい素敵な
お店です!

OPEN 11:00-16:00
CLOSED 水・木
台西尾市-色町赤羽後田
24-5
☎0563-74-5005

にわか編集長
コメント

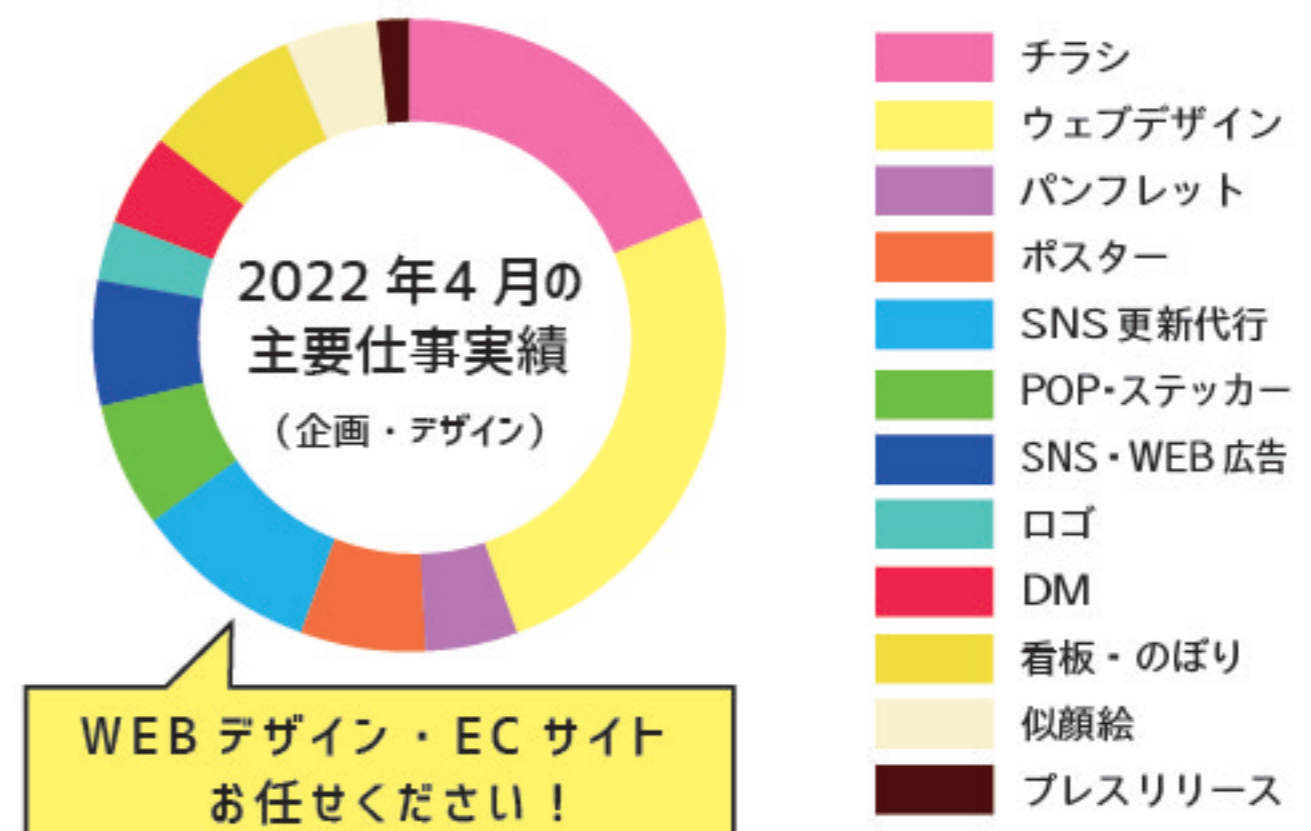
イラストからのんびりとした異国情緒な雰囲気が伝わってきます。西尾って素敵なカフェが多いですね。居心地の良いカフェで週末を過ごせれば、翌週の仕事も元気よくこなせそうです！3696の意味って何ですか？ミクロって読むんですね。

今月の 八百万百景

三河大島の夜

撮影者：山本兼佑

春日浦で夜行虫が見られたということで、撮りに行ってきました。しかしそう簡単に夜行虫には会えず…。雨降った後が狙い目のことなのでまたチャレンジします。にしても三河大島はいつ見ても美しいです。



今月の

にわか編集長
編集後記も持ち回り制!

GW、特に何もせず…orz ドライブぐらい…。連休中はドライブ自体あまり楽しめず、後ろに迫る車の車間距離にびびっておりました。速度計と実測値の差異を考慮して、法定速度+5km程度で走るようにしていますが、すぐに後続が迫ってくるので、一本道では極力抜いてもらうようにしてかわします。車乗り換えてから平均車速がぐっと落ちました。車高が低いと体感速度が速く感じるもので、シンプルに怖いんですね。

山本兼佑